

02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1企業誘致の推進・工業の振興	B	<p>ワンストップサービスによる企業誘致活動の結果、柏原工業団地を中心に新規企業の立地が進み、成果指標の目標値を達成しました。</p> <p>また、就職支援事業では、県内および首都圏の大学等への周知広報を強化し、就職説明会を2回開催して目標を達成するなど、労働力の確保に努めています。</p>	<p>少子高齢化・人口減少が進む中であって、地域産業の維持・振興のため、引き続き、新規企業の誘致と既存企業の事業拡大・撤退抑制、および労働力の確保を図っていきます。</p>
2商業の振興・中心市街地の活性化	C	<p>若い世代の消費者の商店離れには歯止めがかからず、また商店街組織の弱体化が進んでいるため、年間商業販売額や中小企業事業資金保証料補給金件数の目標値に至りませんでした。中心市街地空き店舗活用支援事業については、一定の成果を挙げてきましたが、目標値として挙げた居住者人口・歩行者通行量の増加には達しておらず、引き続きその目標に向かい、より積極的な活性化策を継続して行っていく必要性があります。</p>	<p>商店街が、子育て世代や高齢者にとって、コミュニティの場所となり、日々の生活において身近で必要不可欠な存在になることを目指します。また、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づき、人口減少・高齢社会に対応した、都市機能が効果的に集積・配置されたコンパクトで暮らしやすく、また地域住民のニーズに応じた取り組みが、中心市街地に関わる多様な団体・人々によって実践されるまちづくりを推進していきます。</p>
3農林業の振興	B	<p>農地中間管理事業等により農地の集積・集約化が進みつつあり、経営転換や高齢化等による離農対策に一定の効果が見えました。農作物の販売においては直売所の伸びとともに、産地・大学等の新たな連携による、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、知名度アップ、ブランドアップに期待が持てます。一方で、農業従事者については、高齢化が進む中で、後継者や担い手、新規就農者の確保・育成が課題となっています。</p>	<p>産地としての知名度アップ・ブランドアップを図るとともに、農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し、魅力ある農業、儲かる農業を目指します。また、集落営農の法人化や担い手・就農者の確保・育成を行っていきます。</p>
4観光業の振興	B	<p>石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できたが、平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成27年度実績では1,350,500人であり、計画における入込観光客数は概ね順調です。</p>	<p>豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、観光振興計画に基づき、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。また、平成28年9月にジオパークが認定されたことを、地域資源の魅力アップに繋げます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化、就職相談会や面接会の実施

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>ワンストップサービスによる企業誘致活動の結果、柏原工業団地を中心に新規企業の立地が進み、成果指標の目標値を達成しました。</p> <p>また、就職支援事業では、県内および首都圏の大学等への周知広報を強化し、就職説明会を2回開催して目標を達成するなど、労働力の確保に努めています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>少子高齢化・人口減少が進む中において、地域産業の維持・振興のため、引き続き、新規企業の誘致と既存企業の事業拡大・撤退抑止、および労働力の確保を図っていきます。</p>

2 主要事業の概要

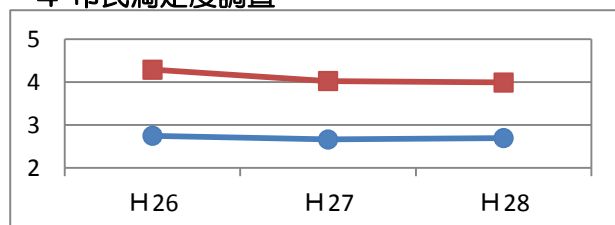
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業【商工課】	柏原工業団地を中心とした遊休地への立地促進だけでなく、既存企業の事業拡大及び撤退抑止など、企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業【商工課】	目標には達していないものの、この事業により地元企業へ内定・就職した学生がいます。今後も、若い労働力を確保したい中小企業と、地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
柏原工業団地の土地利用 率	柏原工業団地の敷地面積のうち工場等家屋の建築面積が占める割合	%	28.96 (H22)	31.8	32.16
就職相談会、面接会の実施 件数	企業の就職相談会及び面接会を開催する件数	回	0 (H22)	2	2
【参考指標】企業誘致による 新增設企業数	企業誘致活動により工場等を新設・増設した企業数	社	0 (H22)	16	13
【参考指標】面接会参加による 就職内定学生数	就職説明会に参加したことで採用が内定した学生等の数	人	0 (H22)	20	5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.75	4.29
平成27年度調査	2.66	4.03
平成28年度調査	2.70	3.99

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	02商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援，中心市街地での新規出店者支援

1 総括評価

C	評価コメント
	若い世代の消費者の商店離れには歯止めがかからず，また商店街組織の弱体化が進んでいるため，年間商業販売額や中小企業事業資金保証料補給金件数の目標値に至りませんでした。中心市街地空き店舗活用支援事業については，一定の成果を挙げてきましたが，目標値として挙げた居住者人口・歩行者通行量の増加には達しておらず，引き続きその目標に向かい，より積極的な活性化策を継続して行っていく必要性があります。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	商店街が，子育て世代や高齢者にとって，コミュニティの場所となり，日々の生活において身近で必要不可欠な存在になることを目指します。また，中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づき，人口減少・高齢社会に対応した，都市機能が効果的に集積・配置されたコンパクトで暮らしやすく，また地域住民のニーズに応じた取り組みが，中心市街地に関わる多様な団体・人々によって実践されるまちづくりを推進していきます。

2 主要事業の概要

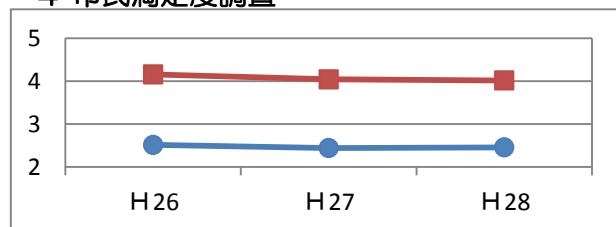
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
商工振興事業【商工課】	これまでいかに客を呼びかかとうことを考えて補助金等を支出してきましたが，インターネットやSNSが普及してきた状況を考え，いかに物を売るかという検討も必要になっていきます。
中心市街地活性化事業【商工課】	現在策定中の中心市街地活性化基本計画（第2期）の中で，見直しが必要な事業については，事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また，新規事業として，これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。そして，これらの事業計画により，1コンパクトな都市機能づくり，2住み続けられるまちづくり，3賑わいの導線づくり，4商業振興と地域資源みがき，5まちなか観光の事業実現に向けた取り組みを進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	4,360
中心市街地の歩行者通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	2,644 (H20)	2,780	2,362
年間商業販売額	商業統計調査による市内商業販売額	億円	1,191 (H22)	1,191	1,053
中小企業事業資金保証料補給金件数	事業資金の融資を斡旋しその保証料を補給する件数	件	149 (H22)	200	141

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.51	4.16
平成27年度調査	2.44	4.04
平成28年度調査	2.46	4.02

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進，新規就農者支援

1 総括評価

B	評価コメント
	農地中間管理事業等により農地の集積・集約化が進みつつあり，経営転換や高齢化等による離農対策に一定の効果が見えました。農作物の販売においては直売所の伸びとともに，産地・大学等の新たな連携による，高品質な果樹のブランド創りに取り組み，今後，知名度アップ，ブランドアップに期待が持てます。一方で，農業従事者については，高齢化が進む中で，後継者や担い手，新規就農者の確保・育成が課題となっています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	産地としての知名度アップ・ブランドアップを図るとともに，農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し，魅力ある農業，儲かる農業を目指します。また，集落営農の法人化や担い手・就農者の確保・育成を行っていきます。

2 主要事業の概要

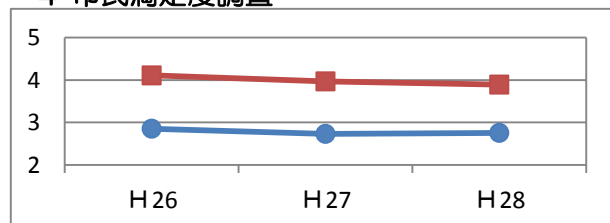
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
農業委員会一般経費【農業委員会事務局】	農地中間管理事業による利用権設定件数は，農地集積・集約化において一定の成果が得られました。今後は，営農継続が困難な農地を面的集積し，担い手に貸し出すことで，更なる作業効率向上による大規模経営体の育成が必要です。
農力アップ推進事業【農政課】	平成23年度から継続して取り組んできた販売促進PR事業が一定の目標を達成しました。今後は，a.直売生産・販売向上・市の知名度アップが必要です。b.果樹・園芸産地の維持・魅力アップを図るため，新品種や人気品種への改植，新しい栽培技術や施設整備が必要です。
新規就農者支援対策経費【農政課】	これまで以上に積極的なPR活動を展開し，新たな就農者の確保を目指すとともに青年就農給付金，研修による支援をしてまいります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
農地利用権設定面積	農地の流動化推進と集積	ha	413 (H25)	718	487
人・農地プラン策定地区数	人・農地プランにおいて地域ごとの計画を策定する地区	地区	12 (H25)	20	18
直売売上額	直売による売上額	千円	800,000 (H25)	900,000	1,053,567
森林ボランティア数	市内森林の維持管理ボランティア新規登録者数	人	9 (H25)	24	20

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.85	4.11
平成27年度調査	2.73	3.97
平成28年度調査	2.76	3.89

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できたが、平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成27年度実績では1,350,500人であり、計画における入込観光客数は概ね順調です。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、観光振興計画に基づき、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。また、平成28年9月にジオパークが認定されたことを、地域資源の魅力アップに繋げます。

2 主要事業の概要

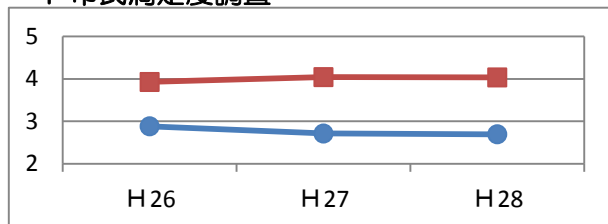
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
観光対策経費【観光課】	地域特性を活かした観光エリアの魅力アップ、周遊できる環境づくり、石岡ブランドの確立とPRに取り組む必要があります。
筑波山地域ジオパーク推進事業【政策企画課】	ジオパーク活動への継続的な取り組みで、理解や協力を得られるようになってきました。ジオツアー等の参加者も徐々に増加し、市民団体の方も協議会のイベント等へ参加していただいています。今後も関係団体への一層の協力や情報提供を行い、地域全体でジオパーク認定に向けた取組を推進していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	835,400 (H21)	1,250,000	1,350,500

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.88	3.93
平成27年度調査	2.71	4.04
平成28年度調査	2.69	4.03